

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【公表番号】特表2008-507637(P2008-507637A)

【公表日】平成20年3月13日(2008.3.13)

【年通号数】公開・登録公報2008-010

【出願番号】特願2007-522690(P2007-522690)

【国際特許分類】

D 0 1 F 6/74 (2006.01)

D 0 3 D 15/00 (2006.01)

【F I】

D 0 1 F 6/74 Z

D 0 3 D 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月9日(2008.7.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) ドープフィラメントの凝固中または凝固直後に、凝固したドープフィラメントを水、または水とポリリン酸との混合物を含有する洗浄液とポリリン酸を加水分解するのに十分な条件下で接触させる工程と、

(b) 凝固ドープフィラメントを、水と有効量の塩基とを含有する中和溶液と、フィラメント中のポリリン酸を塩基と酸の塩まで中和するのに十分な条件下で接触させる工程と

を含んでなり、

中和されたフィラメント中に存在する塩基カチオン(M)とリン(P)のモル当量比(M/P)が2.5~3.4であり、

得られたフィラメントにおけるフィラメント中の含有ポリリン酸の平均重合度が1.5未満または1.5に等しいようにする、ポリベンザゾールドープフィラメントからポリリン酸を除去する方法。

【請求項2】

ポリベンザゾールと、

平均重合度が1.5未満または1.5に等しい、ポリリン酸と塩基の塩とを含んでなり、

フィラメント中に存在する塩基カチオン(M)とリン(P)のモル当量比(M/P)が2.5~3.4であるフィラメント。

【請求項3】

複数の請求項2に記載のフィラメントを含んでなる糸。

【請求項4】

請求項3に記載の糸を含有する布帛。

【請求項5】

請求項3に記載の糸を含有する物品。

【請求項6】

請求項2に記載のフィラメントを組み込んだ糸、布帛または物品を製造する方法。